

宮本議員

統一協会癒着 全て明らかにせよ

自民に関係遮断求める



質問する宮本氏

共産党の宮本岳志衆院議員は2日の衆院予算委員会で、自民党が統一協会や国際勝共連合と組織的に深く癒着してきた長い歴史があることを挙げ、関係をすべて明らかにした上で、関係を断つよう強く求めました。

衆院予算委員会

岸田首相は昨年の臨時国会で、自民党と統一協会の癒着を断つため、「地方についても周知徹底する」と答弁。同党国会議員と地方組織に出された通知には、「関係遮断を徹底」するとされましたが、徹底されていません。

12県連が関係遮断確認せず

共同通信の報道では、統一地方選候補の公認・推薦に当たって、宮城、千葉、兵庫、和歌山

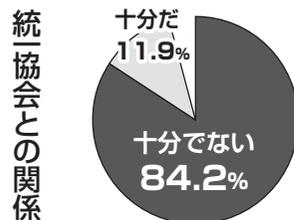


統一協会本部
東京都渋谷区

など自民党の12県連が統一協会との接点や関係遮断を確認しない方針です。

宮本氏は、宮城県連の会長・西村明宏環境相、千葉県連の会長・浜田靖一防衛相に「なぜ確認すらないのか」と追及。西村環境相は、「問い合わせをしていない」、浜田防衛相は「(候補者)

細田議長「説明不十分」



共同「共同」世論調査

「共同」世論調査で、統一協会との関係をめぐり記者会見も開かない細田衆院議長の説明は「十分でない」が84.2%にのぼりました。

全員の確認を取るといって進めている」としか答えませんでした。宮本氏は、首相がいくら「(関係を)断つ」と言っても、「まさに大臣が会長を務めている二つの県連でこういう状況がある」と厳しく批判しました。

大阪カジノ疑惑



用地の不当値引き新証拠

「しんぶん赤旗」日曜版(5日号)が、大阪のカジノリゾート(IR)用地について、賃料を不当に値下げしたことを裏付ける新たな証拠をスクープしました。大阪市はIR事業者と年間25億円の契約を結ぶつもりですが、本来なら40億円の値打ちがあるというものです。

IRは高層ホテルを常設するのが常識。しかし大阪のカジノ用地については、IR開業を想定せず、2階建てのショッピングセンターをイメージして鑑定評価をしました。賃料が安くなるのは当然。事業者への最大級の便宜です。

秘書官更迭 首相答弁めぐり差別発言

首相自身の認識が問われる

岸田首相は4日、性的少数者や同性婚について「見るのも嫌だ」などと差別発言をした荒井首相秘書官を更迭しました。このような

人物を秘書官にした首相の任命責任が問われます。

荒井氏の発言は、首相の同性婚に関する答弁—「家族観や価値観、

社会が変わってしまう課題だ」(1日、衆院予算委)に関する質問の中で飛び出したもの。首相は、性的少数者に対し差別的言動を繰り返した杉田水脈衆院議員を政務官に起用、批判が相次いだのにかばいつづけました。首相の認識と人権感覚の低さが問題の根本にあります。